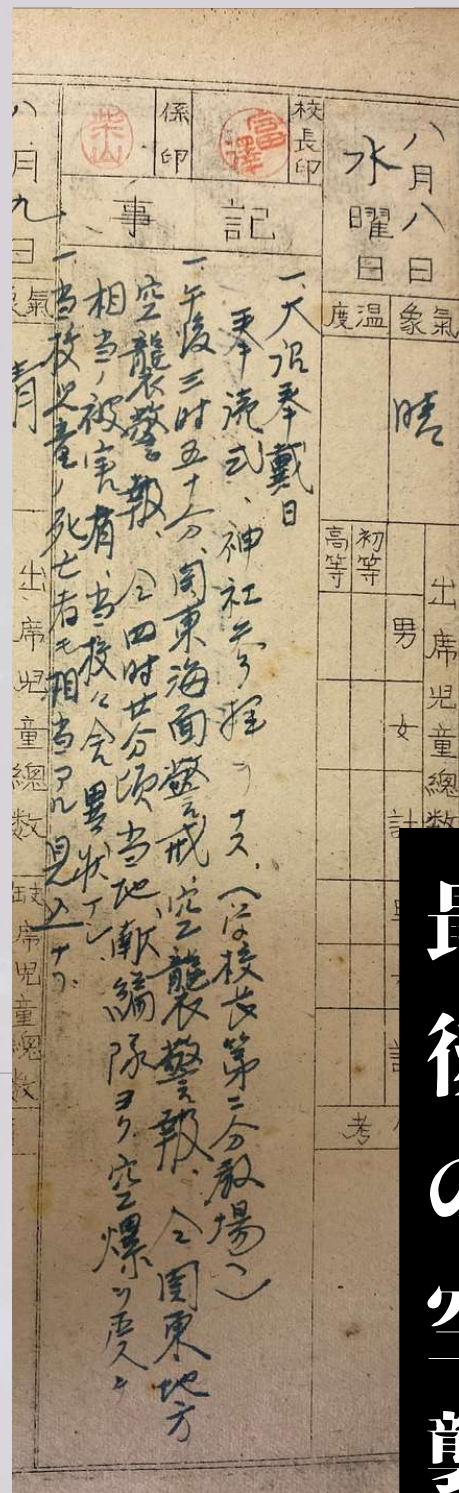


昭和20年8月8日 水曜日 晴

最後の空襲



(意訳)

一、大詔奉戴日

奉読式、神社参拝をなす（学校長第二分教場へ）

一、午後3時50分、関東海面警戒、全関東地方

空襲警報、同4時20分頃当地、敵編隊より空爆を受け

相当の被害有、当校に全く異状なし

一、当校児童の死亡者も相当ある見込みなり

大詔奉戴日とは、大東亜戦争(太平洋戦争)完遂のための大政翼賛の一環として終戦まで毎月8日に実施された国民運動を行う日です。国旗を出し、学校で式を行うところもありました。

終戦の1週間前、激しい空襲に襲われ、たくさんの被害と、多くの児童が亡くなりました。この日が、西東京市として被害を受けた最後の空襲となります。